



## ニューヨーク・ニュージャージー及びフィラデルフィアにおける 安全な渡航・滞在&観戦のために

当地訪問を予定されている皆様へ

2026年6月  
在ニューヨーク日本国総領事館

FIFA ワールドカップ 2026 の試合会場のうち、MetLife Stadium（今次大会においてはニューヨーク・ニュージャージー・スタジアム）及び Lincoln Financial Field（今次大会においてはフィラデルフィア・スタジアム）は、在ニューヨーク日本国総領事館の管轄地域にあります。

当地への渡航・滞在に向けて、あらかじめ準備しておくべきこと、試合観戦に当たっての留意事項、更には当地到着後に気を付けるべき安全対策をまとめましたので、ご一読ください。当地に渡航・滞在される日本人の皆様の安全対策の一助となれば幸いです。

=====  
I 事前準備（米国訪問前に準備すべきこと）・・・・・・・・・・・・・・・・P 1

II 移動・試合観戦に関する注意事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・P 3

III 安心・安全な滞在のための注意事項（地域別の治安状況）・・・・・・・・P 6

IV 所持品の紛失・盗難対応及び緊急時の主要連絡先 ・・・・・・・・P 9  
=====

## I 事前準備（米国訪問前に準備すべきこと）

### 1. 入国前の諸手続

#### （1）ESTA の早期申請（米国の手続）

- 日本国籍者は、米国での短期滞在（90 日以内の観光等）又は通過（トランジット）にあたり、査証（ビザ）は免除されますが、ESTA（電子渡航認証）を取得する必要があります。  
ESTA は米国渡航の 72 時間以上前に申請 することが推奨されており、事前に承認されていない場合、航空機等への搭乗が拒否されます。ESTA による渡航認証が拒否された場合、米国大使館・総領事館において査証を申請・取得する必要がありますので、時間に余裕を持って申請手続を進めてください。

【参考】ビザ免除プログラムを利用した米国への渡航（外務省ホームページ）（ESTA 申請公式ページへのリンクを含む）

[https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/passport/us\\_esta.html](https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/passport/us_esta.html)



- 通常、ESTA は一度認証されると 2 年間有効で、その期間内は回数の制限なく米国への渡航が可能です。ESTA の有効期限は米国税関・国境警備局（CBP）のホームページで確認できます。

【参考】米国税関・国境警備局（CBP）：ESTA 申請公式サイト

<https://esta.cbp.dhs.gov/>



【参考】在日米国大使館 ESTA 申請関連サイト

<https://jp.usembassy.gov/ja/visas-ja/esta-information-ja/>



- 米国の査証及び出入国審査の詳細については、「安全対策基礎データ」の「査証、出入国査証等」をご確認ください。

【参考】安全対策基礎データ「査証、出入国査証等」（外務省海外安全ホームページ）

[https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure\\_221.html](https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure_221.html)



#### （2）「たびレジ」への登録（外務省海外安全情報 無料配信サービス）

- 短期渡航者の方は、「たびレジ」への登録をお願いします。「たびレジ」は、渡航・滞在先の最新の安全情報などを日本語のメールで受け取れる外務省のサービスです。大会期間中の突発的な事件・事故、交通規制、その他緊急事態が発生した際に、登録されたメールアドレスに安全情報を配信します（領事メール）。

【参考】「たびレジ」登録サイト（外務省ホームページ）

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/index.html>



#### （3）海外旅行保険への加入

- 米国の医療費は非常に高額です。専門医による一回の診察で 1 千ドル（約 15 万円）、病気やケガなどで入院すると一回の入院で数百万円から数千万円が必要となる場合もあります。また、救急車は搬送距離にもよりますが数十万円かかります。旅行・滞在中の予期せぬトラブルに備え、十分な補償内容の海外旅行保険に加入することを強くおすすめします。

【参考】海外旅行保険加入のすすめ（外務省海外安全ホームページ）

[https://www.anzen.mofa.go.jp/c\\_info/hoken.html](https://www.anzen.mofa.go.jp/c_info/hoken.html)



## 2. 事前に準備すべきこと

### (1) 通信手段の確保

- いざというときに備え、確実な通信手段（米国で使用可能な e-SIM、SIM カード、Wi-Fi ルーター等）を確保することを強くおすすめします。通信手段がないと、現地でのルート検索やデジタル・チケットの表示等にも支障を来します。

### (2) 決済手段の確保（カード・スマートフォン決済）

- スタジアム内の決済は「完全キャッシュレス化」されています（現金不可）。グッズ、食事や飲み物の購入のためには、クレジットカード、デビットカードやタッチ決済（Apple Pay、Google Wallet 等）による支払いが求められます。ブランドの異なる複数のクレジットカードやデビットカード（Visa、Mastercard、JCB、American Express 等。タッチ決済可能なものが望ましい）のほか、タッチ決済可能なスマートフォンを準備してください。

#### 【参考】

- MetLife Stadium（ニューヨーク・ニュージャージー・スタジアム）  
<https://www.metlifestadium.com/plan-your-visit/a-z-guide#C>（Cash Free）



- Lincoln Financial Field（フィラデルフィア・スタジアム）  
<https://www.lincolffinancialfield.com/a-z-stadium-information/>  
（ATMs/Cash to Credit）



### (3) FIFA 公式チケットアプリのダウンロード

- W 杯大会のチケットは、公式アプリを通じたデジタル・チケットのみ有効です。紙やメール画面、スクリーンショットでの入場は一切できません。

#### 【参考】

- FIFA ワールドカップ 26 関連サイト（「Ticket Delivery」の Q11 を参照）  
<https://gpcustomersupportfwc2026.tickets.fifa.com/hc/en-gb>



- 事前に公式アプリをダウンロードし、ログインしてチケットが表示されるか確認してください。当日は電波が繋がりにくくなる可能性もあるため、事前に端末のウォレット（Apple Wallet や Google Wallet）に保存しておくことをおすすめします。

#### 【参考】公式アプリ QR コード

iOS（App Store）

[FWC2026 Mobile Tickets](#)



Android（Google Play）

[FWC2026 Mobile Tickets](#)



## Ⅱ 移動・試合観戦に関する注意事項

### 1. スタジアムへの入場（セキュリティチェック）

米国のスタジアムに入場するにあたって、セキュリティチェックは非常に厳格に行われます。手荷物は基準が定められており、基準外のものは一切持ち込めません（預ける場所もなく、入場するためにはその場で廃棄処分とせざるを得ない場合もあります）。

#### (1) クリアバッグポリシー（透明バッグ規制）

- 持込み可能な手荷物は、30cm×15cm×30cm 以内のクリアバッグ（透明なプラスチック、ビニール、又はPVC製のバッグ）のみです。事前にクリアバッグをご用意ください。
- 中身が見えない通常のリュック、トートバッグ、カメラバッグは一切持込み禁止です。
- 手のひらサイズの小さなポーチ（11cm×16cm 以内）のみ、透明でなくても1人1点まで持込み可能です。

#### (2) 雨具（レインコート・ポンチョ）の用意

- スタジアム内への「傘」の持込みは固く禁じられています。雨天に備え、レインコート等をご用意ください。

【参考】

- MetLife Stadium（ニューヨーク・ニュージャージー・スタジアム）

<https://www.metlifestadium.com/plan-your-visit/a-z-guide/clear-bag-policy/>

- Lincoln Financial Field（フィラデルフィア・スタジアム）

<https://www.lincolffinancialfield.com/safety/>



### 2. スタジアム内での禁止・注意事項

MetLife Stadium（ニューヨーク・ニュージャージー・スタジアム）及びLincoln Financial Field（フィラデルフィア・スタジアム）の両会場は、スタジアム固有のローカルルール（特にカメラ規制の違いや再入場の可否）が存在します。スタジアムのA-Zガイド等の公式ルールを遵守し、入場拒否や退場処分にならないよう注意してください。

【参考】

- MetLife Stadium（ニューヨーク・ニュージャージー・スタジアム）

<https://www.metlifestadium.com/plan-your-visit/a-z-guide>

- Lincoln Financial Field（フィラデルフィア・スタジアム）

<https://www.lincolffinancialfield.com/a-z-stadium-information/>



#### (1) カメラ・機材の制限

機材の持込みには、厳しいサイズ規制が敷かれています。基準を超えたレンズは入場時に没収又は廃棄処分となります。

- MetLife Stadium（ニューヨーク・ニュージャージー・スタジアム）： レンズの長さが 15cm（6インチ）を超えるもの、三脚、一脚、自撮り棒は一切持込禁止。
- Lincoln Financial Field（フィラデルフィア・スタジアム）： レンズの長さが 12.7cm（5インチ）を超えるもの、三脚、一脚、自撮り棒に加え、GoPro（アクションカメラ）も一切持込禁止。

## (2) 飲食物・ビン・缶の持込禁止

- ▶ 外部からの飲食物、アルコール、ビン、缶、水筒、魔法瓶、クーラーボックスなどの持込みは固く禁じられています（ペットボトルも中身が入っているものは不可）。
- ▶ 通常のスタジアム規定とは異なり、W 杯期間中は「中身がカラの、1 リットル以下の透明なプラスチックボトル」のみ持込みが許可されます（スタジアム内の無料給水ステーションが利用可能）。

## (3) 完全キャッシュレス決済

- ▶ 両スタジアム内は現金での支払いが一切できません。万が一、現金しか所持していない場合は、館内の専用交換機で現金をプリペイドカードに変換する必要があります。混雑を避けるためクレジットカードやデビットカード又はスマートフォンでの決済をおすすめします。

## 3. スタジアムへの交通アクセスと移動時の留意事項

スタジアムへの交通アクセス及び留意事項は以下のとおりです。詳細は、各運行事業者のウェブサイトをご確認ください。

### (1) MetLife Stadium (ニューヨーク・ニュージャージー・スタジアム)

- ▶ 公式直行シャトルバス  
大会中は「公式スタジアム・シャトル (Official NYNJ Stadium Shuttle)」が運行されます。  
NY 側の出発地：ポート・オーソリティ・バスターミナル (Port Authority Bus Terminal)、ミッドタウン東、ミッドタウン北  
NJ 側の出発地 (パーク&ライド)：クリフトンにある「ハッケンサック・メリディアン医科大学」の特設駐車場。レンタカーや自家用車でスタジアム方面へ向かう方は、ここで車を駐車し、直行バスに乗り換えることになります。  
※注意：シャトルバスのチケットは完全事前予約制です。購入及び乗車には「当日の W 杯観戦チケット」の提示が必須です (チケット非所持者は乗車不可)。

【参考】交通アクセス・シャトルバス予約 (NY・NJ ホスト委員会)

<https://nynifwc26.com/getting-to-nynj-stadium/>



- ▶ 公共交通機関 (鉄道)  
NY (マンハッタン) 方面から：ニューヨーク・ペン・ステーション (Penn Station) から NJ Transit (鉄道) を利用します。W 杯期間中は、全ての列車が最初の停車駅「セコーカス・ジャンクション駅 (Secaucus Junction)」でスタジアム専用線へと乗り換えるシャトル方式となります。  
NJ (ニュージャージー) 各地から：各エリアの NJ Transit 路線 (Northeast Corridor、North Jersey Coast、Raritan Valley 線など) に乗車し、同じく全員「セコーカス・ジャンクション駅」でスタジアム専用線へと乗り換える動線になります。

※注意：試合当日のキックオフ 4 時間前から、ペン・ステーションの対象エリア等は「当日の W 杯観戦チケット」所持者のみに入場が制限されます。乗車・乗り換えには、事前予約チケットと連動して発行される専用の「Matchday Wristband (リストバンド)」の着用が義務付けられます (非所持者は乗車・乗り換え不可)。

【参考】NJトランジットワールドカップ特設サイト

<https://www.njtransit.com/fifa2026>



➤ 配車サービス（Uber/Lyft 等）：

試合の前後は料金が高騰するとともに、非常に捕まえにくくなる可能性があります。また、配車サービス車両のスタジアム敷地内（駐車場を含む）での乗降はできません。

乗降場所は、少し離れた専用乗降場「メドウランズ・レーシング&エンターテインメント（Meadowlands Racing & Entertainment）」の1箇所です。そこからスタジアムのゲートまでは約1マイル（約1.6km）離れており、徒歩で約20分～25分です。

## （2）Lincoln Financial Field（フィラデルフィア・スタジアム）

➤ 公共交通機関（地下鉄）

市内中心部のハブである「City Hall/15<sup>th</sup> Street 駅」から、地下鉄 SEPTA（ペンシルベニア南東部交通局）のオレンジライン（Broad Street Line）の南行き（Southbound）に乗車し、終点である「NRG Station」で下車します（下車後、スタジアムの各入場ゲートまでは歩いてすぐ）。

【参考】SEPTA（ペンシルベニア南東部交通局）ワールドカップ特設サイト

<https://www.septa.org/info/world-cup-soccer-septa/>



➤ 配車サービス（Uber/Lyft 等）

試合前後は料金が高騰するとともに、非常に捕まえにくくなる可能性があります。また、当日は交通規制が敷かれるため、スタジアム前や一般駐車場内での乗降はできません。

Uber 等の乗降場所は、地下鉄駅の横に設定される指定の専用ゾーン（Rideshare Zone：Broad St & Pattison Ave 付近）に限定されます。そこからスタジアムのセキュリティ及び入場ゲートまでは、徒歩で約10分程度です。

➤ 車・レンタカー

スタジアム周辺の専用駐車場を利用する場合、W杯期間中は完全な事前オンライン予約制となる可能性があります。予約が無い場合は周辺道路への進入自体が制限されることがあります。

【参考】交通・観光アクセス公式案内（フィラデルフィア・サッカー2026 ホスト委員会）

<https://phillyfwc26.com/>



### Ⅲ 安心・安全な滞在のための注意事項（地域別の治安状況）

当館作成の「安全の手引き」から一部抜粋してお知らせします。より詳細な情報については「安全の手引き」をご確認ください。

【参考】安全の手引き（当館ホームページ）

<https://www.ny.us.emb-japan.go.jp/files/100882028.pdf>



#### 1. 地域別の治安状況と防犯対策

ニューヨーク及びフィラデルフィアの治安状況及び防犯対策は以下のとおりです。

##### (1) ニューヨーク

- ニューヨーク市マンハッタン区、ブルックリン区の中心街においては、強盗や観光客を狙ったスリ・置き引き等の窃盗犯罪が多発しています。また、人通りの少ない路上やビルの陰、地下鉄等において武装強盗に襲われる事件やヘイトクライム事案も発生しています。

【参考】写真でわかる地下鉄利用時の留意事項（当館ホームページ）

<https://www.ny.us.emb-japan.go.jp/files/100924319.pdf>



- 主要都市の空港、ターミナル駅やイベント会場等において、違法タクシー（白タク）の被害が多発しています。公式の「Ground Transportation（地上交通）」標識に従い、指定の乗り場から正規タクシーに乗車するか配車アプリをご利用ください。なお、配車アプリをご利用の際は、ご自身が手配した車両かナンバープレート等で必ず確認した上で、乗車してください。

【参考】空港、ターミナル駅やイベント会場等における違法タクシー被害

[https://www.ny.us.emb-japan.go.jp/itpr\\_ja/051926.html](https://www.ny.us.emb-japan.go.jp/itpr_ja/051926.html)



- ニューヨーク市が公表している犯罪マップ（NYC Crime Map）等によれば、犯罪多発エリアは以下のとおりです。

マンハッタン区	Midtown、Midtown South、East Harlem
ブルックリン区	Brownsville、East New York、Crown Heights、Bedford-Stuyvesant、Bushwick、Canarsie
ブロンクス区	Hunts Point、Mott Haven、Fordham、Highbridge、Tremont、South- Bronx 等ほぼ全域
クイーンズ区	Jamaica、Edgemere、Rockaway
スタテンアイランド区	Tompkinsville

【参考】NYC Crime Map（ニューヨーク市犯罪マップ）

<https://maps.nyc.gov/crime/>

##### (2) ニュージャージー

- スタジアムやニューアーク・リバティー国際空港の周辺には、全米平均と比較して犯罪発生率が高いエリアもあります。こうした地域への立ち入り（徒歩移動）や滞在（宿泊）は避けてください。

- ニュージャージー州警察（NJSP）の犯罪統計によれば、特に注意が必要なエリアは以下のとおりです。
  - ニューアーク市（Newark）：空港に隣接する South Ward、West Ward を中心とする地域では、ギャングによる麻薬取引、銃撃、強盗、車両窃盗事件が多発しています。
  - パターソン市（Paterson）：スタジアムの北西に位置する都市です。ギャングによる麻薬取引や銃撃、強盗事件が多発しています。
  - パセイク市（Passaic）：スタジアムの北西に近接する都市です。Main Avenue を含むダウントウンなど一部のエリアは犯罪発生率が高いとされています。
  - ジャージーシティ市（Jersey City）：ハドソン川を挟んでマンハッタンの対岸に位置する都市です。再開発が進む沿岸部（駅周辺）は比較的安全ですが、内陸部や南部（特に Greenville 地区や Bergen-Lafayette 地区）は銃撃事件や強盗事件も発生しています。

【参考】 OpenCrime New Jersey（NJ 州各都市の凶悪犯罪率データ）

<https://www.opencrime.us/states/nj>



### （3）フィラデルフィア

- 歴史都市であり多くの観光客が訪れる一方、近年は銃器を用いた犯罪や深刻な薬物問題に関連した治安悪化が懸念されています。人通りの多い観光地や公共交通機関であっても、強盗、ひったくり、スリ等に十分な注意が必要です。
- フィラデルフィア市警察の治安データによれば、以下のエリアは銃器犯罪や薬物取引が多発しています。観光目的での訪問はもちろん、このエリア内のホテルを滞在先として選ぶことは、安全管理上極めて危険ですので避けてください。
  - ケンジントン地区（Kensington）周辺：全米最大規模の路上薬物市場とされており、一帯は治安が悪化しています。いかなる理由があっても絶対に立ち入らないでください。
  - 北フィラデルフィア（North Philadelphia）：市内で最も銃撃事件や殺人事件の発生率が高く、日夜を問わず非常に危険な区域に指定されています。

【参考】 Philadelphia Police Interactive Map（犯罪マップ検索サイト）

<https://www.phillypolice.com/district/district-gis/?crimestats=crimestats>



## 2. スマートフォン・その他貴重品の紛失防止と対応

スタジアム内や移動中の混雑エリアでの紛失・スリ被害が多発していますので、スマートフォン、クレジットカード、現金などの貴重品の管理や防犯対策を徹底してください。

### （1）現地での主な予防策

- 両スタジアムとも完全キャッシュレス決済のため、現金が使用できません。その他、観光等の際も、防犯の観点から、多額の現金を持ち歩くことは避けてください。
- 万が一の紛失・盗難に備え、クレジットカード等は 1 か所にまとめず、別々の場所に分散して保管してください。
- スマートフォンはデジタル・チケットの表示などに必要となります。ズボンの後ろポケットやカバンの外側など、抜き取られやすい場所には入れず、ネックストラップ等を活用して身体から離さない工夫をしてください。

## 【2】紛失・盗難時の対応

- クレジットカードは紛失に気づいた時点で、速やかに発行会社へ連絡し、カードの利用停止手続きを行ってください。
- スタジアム内で紛失したと思われる場合は、各スタジアムの遺失物取扱所（Lost & Found）窓口へ直ちに確認してください。スタジアム外や移動中に紛失した場合は、警察署への届け出（ポリスレポートの取得）を行うとともに、利用した交通機関（NJ Transit、SEPTA 等）の遺失物窓口や、滞在先ホテル等へも確認を行ってください。

【参考】盗難等の犯罪被害にあった場合（当館ホームページ）

[https://www.ny.us.emb-japan.go.jp/itpr\\_ja/hanzai.html](https://www.ny.us.emb-japan.go.jp/itpr_ja/hanzai.html)



## 3. 米国の法令遵守

日本で一般的に許容されていることでも、米国では法律で禁止されていることがあります。また、大会期間中はスタジアムの厳格なルールや FIFA 独自の規制によって制限される事項もあり得ますので、大会公式ウェブサイト等をよく確認してください。

### 【1】飲酒

- 道路、公園、スタジアム周辺など、公共の場での飲酒は法律で禁止されています。
- 騒いでいなくても、自力で歩けないほど泥酔していると判断された場合、周囲への危険とみなされ現行犯逮捕・拘留される恐れがあります。
- 米国の法定飲酒年齢は 21 歳以上です（日本の 20 歳と異なり、30 代・40 代でもパスポート原本の提示を求められることがあります）。

### 【2】喫煙

- 公共施設の入口や窓から 15～20 フィート（約 4.5～6m）以内での喫煙（電子タバコ含む）は法律で禁止されています。
- スタジアムの敷地内（屋内・屋外コンコースすべて）は全面禁煙です。ライターやマッチの持込み自体が拒否される場合もあります。
- 米国の法定喫煙年齢は 21 歳以上です。

【参考】注意喚起：米国法令の遵守について

[https://www.ny.us.emb-japan.go.jp/itpr\\_ja/News\\_092625.html](https://www.ny.us.emb-japan.go.jp/itpr_ja/News_092625.html)



## IV 所持品の紛失・盗難対応及び緊急時の主要連絡先

### 1. パスポートの盗難・紛失

パスポートを盗難・紛失した場合は、最寄りの警察署で証明書を発行してもらった上で、総領事館において紛失届の提出及び帰国のための渡航書等の申請手続きを行います。

#### (1) 警察証明書 (Police Report) の入手

- パスポートを盗難・紛失した場合は、速やかに最寄りの警察署に届け出て、証明書 (Police Report Fact Sheet) を発行してもらう必要があります。
- 証明書 (事故・犯罪報告書) の作成依頼フォーマットは、以下の当館ホームページからダウンロードできます。必要事項を記入の上、警察に提出してください。

【参考】：被害届作成依頼書 (ニューヨーク市内の例。他の都市でも準用可)

<https://www.ny.us.emb-japan.go.jp/files/100882032.pdf>



- 警察署から証明書が交付されなかった場合、届出番号「Complaint Number」を確認の上、総領事館にご連絡ください。

#### (2) 「紛失一般旅券等届出書」の提出

- 有効なパスポートを盗難・紛失・焼失した場合、「紛失一般旅券等届出書」の提出が必要です。
- 「紛失一般旅券等届出書」提出後、盗難・紛失・焼失したパスポートは失効し、万が一発見されても使用することはできません。

【参考】パスポートの盗難・紛失・焼失届 (当館ホームページ)

[https://www.ny.us.emb-japan.go.jp/itpr\\_ja/passport05.html](https://www.ny.us.emb-japan.go.jp/itpr_ja/passport05.html)



#### (3) 帰国のための渡航書等の申請

パスポート (緊急旅券を除く。) は日本国内での集中作成に移行しているため、在外公館の窓口で即時発行することはできず、申請から交付までに3~4週間を要することになります。

したがって、米国への旅行の間に有効なパスポートを盗難・紛失・焼失した場合には、一般的に、日本への帰国を希望される方については「帰国のための渡航書」を、米国から日本以外の第三国への入国を希望される方については「緊急旅券」を、それぞれ申請することとなります。

##### ➤ 帰国のための渡航書

帰国のための渡航書の申請手続きには、上記(2)の「紛失一般旅券等届出書」に加えて、戸籍謄本、写真、米国滞在資格 (短期滞在の場合は、ESTA番号) を確認できる書類等が必要となります。詳細については、以下をご確認ください。

【参考】帰国のための渡航書 (当館ホームページ)

[https://www.ny.us.emb-japan.go.jp/itpr\\_ja/passport06.html](https://www.ny.us.emb-japan.go.jp/itpr_ja/passport06.html)



➤ 緊急旅券

米国から日本以外の第三国への入国を希望される方については、緊急旅券を申請することとなりますが、緊急旅券はICチップを搭載していないため、渡航先国・経由地によっては事前の査証取得が必要であったり、入国できなかつたりする場合がありますので、当総領事館にご相談ください。

【参考】緊急旅券（当館ホームページ）

[https://www.ny.us.emb-japan.go.jp/itpr\\_ja/052926.html](https://www.ny.us.emb-japan.go.jp/itpr_ja/052926.html)



## 2. 緊急時の主要連絡先

### (1) 警察・消防・救急はすべて911

事件・事故に遭った際は「911」に通報し（公衆電話ではコイン不要）、オペレーターに緊急事態発生場所と内容（警察・消防・救急の別）を告げます。英語で説明できない時には「ジャパニーズ・プリーズ」と告げれば、日本語通訳サービスを介しての通話が可能です。緊急時以外には、「911」ではなく管轄の警察署へ直接連絡してください。

### (2) 病院

以下の当館ホームページをご参照ください。

➤ 日本語の通じる医療機関リスト

[https://www.ny.us.emb-japan.go.jp/itpr\\_ja/med.html](https://www.ny.us.emb-japan.go.jp/itpr_ja/med.html)



➤ その他の医療情報

[https://www.ny.us.emb-japan.go.jp/itpr\\_ja/med00.html](https://www.ny.us.emb-japan.go.jp/itpr_ja/med00.html)



### (3) 在ニューヨーク日本国総領事館の連絡先

緊急時や思わぬ事態に遭遇しお困りの方は、以下の電話番号又はメールアドレスまでご連絡ください（真に緊急の場合は電話連絡を推奨します）。

- 代表電話番号：(国番号1) 212-371-8222
- メールアドレス：[ryoji@ny.mofa.go.jp](mailto:ryoji@ny.mofa.go.jp)
- ホームページ：[https://www.ny.us.emb-japan.go.jp/itprtop\\_ja/index.html](https://www.ny.us.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html)
- 住所：299 Park Avenue, 18th Floor,  
New York, NY 10171



(了)